

第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」

アーチェリー競技実施要領

1 競技規則

令和8（2026）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 1 標的2名（A・B）の1立制とし、3射ごとに採点・矢取りを行う。
- (2) 行射時間は3射2分とする。
- (3) 練習は競技開始前に行い、「3射2分矢取り」を2回繰り返す。
- (4) 競技進行は、音響・視覚による時間管理装置（信号機）により行う。
- (5) 得点の記録及び矢の回収の権利は、チームの監督、競技者の代行射（エージェント）もしくは競技運営主管団体に委託する。

3 的番・立順

的番及び立順は、主催者が決定する。

4 用具

競技に必要な用具は、競技者が各自用意し、用具検査を受けたものを使用する。
大会期間中の用具管理は、各自の責任において行う。

5 服装等

- (1) 競技時の服装は、競技規則に準じたものとする。
- (2) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを競技者のクイバー又は大腿部に表示し、競技中は常にシューティングライン（SL）後方から見えなければならない。
なお、指定の場所への表示が難しい場合は、状況に応じて別途指示をする。

6 用具検査

用具検査は、令和8（2026）年10月24日（土）及び25日（日）に競技会場で行う。

用具検査については、弓具以外に服装、番号布、車いす、補助具等を含む。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 アシスタント（介助者）

- (1) 障害区分1又は特別な事情のある競技者は、アシスタント（介助者）を1名付ける

ことができる。競技の介助を行う者は、あらかじめ主催者の許可を得て競技者と同じゼッケンの交付を受け、表彰式終了時まで着用する。

- (2) アシスタント(介助者)は、必要に応じてシューティングライン(S L)まで入場することができる。
- (3) 競技者に対する助言は認めない。ただし、用具に重大な異常が生じていることを告げる場合は除く。
- (4) アシスタント(介助者)の違反行為は、全て競技者の違反行為とみなす。
- (5) アシスタント(介助者)は、射場内に競技上必要な物以外は持ち込んで서는ならない。
- (6) アシスタント(介助者)は、競技役員の指示に従わなければならない。

9 受付・招集

- (1) 選手は競技会場到着後、選手受付所において選手団ごとに受付を行う。
- (2) 選手招集所は、競技会場内に設ける。
- (3) 招集は、その組の競技開始予定時刻 20 分前に開始し、10 分前に完了する。
- (4) 選手は招集完了時刻までに選手招集所に集合し、競技役員の点呼を受ける。招集時刻に遅れた者は棄権とみなす。

10 その他

- (1) 監督会議は、令和8(2026)年10月24日(土)に行う。なお、時間及び場所については、別途通知する。
- (2) 競技場内へは、競技者、監督、コーチ、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、情報支援ボランティア、あらかじめ許可されたアシスタント(介助者)、報道関係者及び視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (3) 競技場内への入退場は、競技役員の指示により行う。
- (4) 競技及び表彰の終了した選手は、競技役員又は競技補助員が解散所まで誘導し、解散する。
- (5) 原則として、雨天であっても競技実施とするため、雨具、防寒具等は各自で準備するものとする。
- (6) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。